



福島県立医科大学附属病院

内科専門医研修プログラム

総合内科コース

福島県立医科大学 総合内科・総合診療学講座は
あなたのキャリア形成を全力でサポートします

内科専門医研修プログラム 総合内科コースとは

総合内科専門医は、複合的な内科疾患や、複雑で診断困難な疾患に対する専門的診療能力を持つ医師です。総合内科専門医の多くは中規模病院から大学病院・基幹病院などの大規模病院に勤務し、複数の専門領域・臓器に問題を持つ患者や、社会的な問題を抱える患者に対応し、subspecialtyの内科のみならず、外科系の専門科との連携の要となります。

研修プログラムでは大学病院と関連市中病院において総合内科の基本的診療能力だけでなく、subspecialtyの内科の研修で幅広い内科の専門知識や技能を身につけることができます。加えて、医学的な知識・技術だけでは対応が難しい事例に対応するために包括的統合的ケア、患者中心の医療、多職種連携、地域ケア、プロフェッショナリズムといった総合診療医を特徴づける考え方も、研修の中で身につけていきます。

なぜ最初に総合内科研修が必要なのか？

将来的にsubspecialtyの内科を志望している方も、早期にgeneralな診療能力を身につけることで、医師として幅広く堅固な土台を作ることができます。病歴と身体所見から臨床推論をする能力は普遍的で、将来どのsubspecialtyに進んだとしても診療の支えとなり、専門知識や技術もより高いレベルで習得できるようになります。また、複合的な病態の患者を診ることのできる医師は、高齢化の進む日本の医療で益々求められていきます。

専門に行く前には是非**真のGeneralism**を身に着けましょう！

内科専門医研修 総合内科コースの特徴

研修開始時に医大総合内科で2～4ヶ月の研修をして、基本的な内科診療能力を身につけてもらいます。その後は大学病院もしくは県内外の連携病院での各subspecialty内科の研修プランをオーダーメイドで作成します。

Subspecialty内科専門研修中もSlackなどで総合内科指導医のリアルタイムの相談やフィードバック、個別メンタリングを受けることができる体制を作っています。

[ローテーション例]

専攻医1年目	総合内科	循環器	内分泌	腎臓
専攻医2年目	ICU	脳神経	消化器	血液
専攻医3年目	呼吸器	リウマチ	総合内科	

医学生、研修医の見学・研修相談など随時受け付けております。
お気軽にお問い合わせください。

福島県立医科大学医学部 総合内科・総合診療学講座（事務担当 丸山）

Eメール gim-fm@fmu.ac.jp